



輝く女性
インタビュー

女性技術者に学生が直撃！現在のお仕事や職場の様子について聞いてみました。

仕事への「意欲」と「探究心」がある限り、みずからの未来は広がっていく！

ソニー株式会社

システム技術研究所
システム解析&情報セキュリティ研究部
生物・社会システム解析グループ 統括課長

博士(工学)
松山 科子さん
Shinako Matsuyama



1988年、(株)NEC情報システムズに入社。データベースシステムや電子認証システムの研究開発から商用化、保守までを担当。その後、1998年にソニー株式会社に転職し、「電子マネーシステム」をはじめ、「知的システム」や「複雑系システム」などの研究開発を行う。2005年には筑波大学社会人大学院にて経営学修士号を取得、2008年には東京工業大学博士課程において博士(工学)を取得する。社内のダイバーシティ活動やNPO法人「J-win」ソニー代表メンバーとして、研究以外の多方面でも活動中。

技術者としての喜びが
素直に実感できる職場

情報系の研究所に所属し、技術開発に携わってこられた松山さん。まずは現在の研究内容や、研究所で働く意義などについて聞いてみました。

「例えば、SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)におけるコミュニケーションの動きを解析し、一見無秩序に見えるネット内のコミュニケーションがどう形成され、広がっていくのかを数値化することで、アクセス増加や顧客増加などに役立つデータを作成します。

その他、生物データの解析も行っていますが、面白いことにシステム解析との類似もあり、非常に興味深いのです。こうした研究所で行われている研究は、いわば技術の基礎となる部分。将来、自分の研究がどんな発展を遂げていくのかを考えると、ワクワクせずにいるかもしれません。技術者の純粋な探究心を満足させる同時に、大きなやりがいを実感できる職場です」。



理工系の学生へ
松山さんからのメッセージ

- 多様なアプローチや多面的な視点が求められている研究開発の分野では、女性は貴重な存在です。
- 技術開発の分野で女性が少ないのは、理工系の女子学生が少ないことが大きな要因。もっと女子にも理工系に興味を持ってほしいというのが、企業側の正直な想いです。
- 面接では、「自分の研究がその分野のどこに位置するのか」、さらには「その研究のどこが優れているのか」、そして「将来どう発展するのか」といったことを、自分の言葉で語れる人に企業側は熱い視線を注いでいます。



取材後記 私が取材してきました！
『就職活動への第一歩』

初めての東京、初めてのインタビュー。何もかもが初めてのことばかりで緊張していました。しかし、松山さんのお話を聞くことができ、勇気を出して一步を踏み出してみて良かったと思います。松山さんからの就活のアドバイスは「自分の強みをアピールできること!自分がやってきたことが説明できること!」です。幹事の代表として学生の間にとても貴重な体験することができました。

広島工業大学 電気・デジタルシステム工学科
3年 山本美和



数少ない女性技術者…。研究者ばかりの職場の様子は実際どのようなものか、たずねてみました。

「女性の先輩という存在がほとんどいませんから、ロールモードがないのは少々不便かもしれませんね(笑)。確かに男性ばかりの職場ですが、私は男女差があることは思っていません。差があるとすればそれは個人差なんです。会社も同僚も女性だからではなく、一人の“技術者”として見てもらっていますが、その分、技術者である自分に寄せられている期待も大きいので、常に自らの可能性を伸ばす努力が必要です。会社が社員のステップアップ支援に理解があるので、私も研究所に勤めながら大学院に通い、博士(工学)を取得することができました。技術者ならば、誰もが専門知識を体系的に追究していきたいという意欲を持つていると思います。また、それを支えてくれる社内の理解は本当にありがたいものです。意欲さえ持つていれば、自分なりの技術者としての未来を切り拓いていける職場だと思います」。

男性も女性も一人の技術者！その能力に対応する期待は平等



先輩訪問

株式会社 シンギ



「いつか驚くような新しいデザインで
お客様を感動させたい。」

技術職といえども、やはりコミュニケーションが大切

えていたら、就職部の方が今のお会社を紹介してくださいました。採用は本社がある広島だったのですが、研修で行った東京支店へ自ら志願して転勤。情報が集まる東京なら、さらにセンスを磨くことができると思ってのものが、大きなきつかけとなりました。

増田さんのある1日

- 8時半 始業30分前に出社し、雑務は始業前に片付ける
- 9時 今、抱えている案件の進行状況をチェック
- 12時 広島出身が多い我が社はお休みもアットホーム
- 14時 営業と一緒に新しい案件のお客様を訪問・打合わせ
- 16時 東京ビッグサイトでパッケージの見学会
- 19時 本日のデザイン作業を済ませて帰宅

で、自分自身の引き出しをたくさん作らなくてはなりません。頑張れば頑張るほど、色々な魅力が見えてくる仕事なので、できれば結婚してからもずっと続けていきたいと思つています。

情報が集まる東京へ転勤

予想を裏切る提案をして
お客様を感動させたい！



広島工業大学 環境学部 環境デザイン学科
2005年卒業

増田 有華さん

PROFILE

在学中はアーチェリー部の活動にも力を入れており、メンバーとは今も旧交を温めている。仲・ゼミは建築の意匠系を専攻。

お客様の意向などを把握しなくてはいけません。技術やセンスを提供する仕事といえども、やはりコミュニケーション力は必要! 在学中、部活動やゼミで磨いたコミュニケーション力が役立つているな...と、実感しています。パッケージは立体をデザインするので、大学の建築の授業で身についた『モノを立体的にとらえる力』や、模型を作る技術も試作品作成の際、大いに役立っています。



幅広いジャンルの技術系資格の中には、
プロでも合格が難しい難易度の高い資格から
学生のうちからトライできる資格までさまざま。
今回は実務経験が必要なく、学生の今からでも
取得できる資格を中心に紹介します。

学生の間にチャレンジしよう
難関資格の前に、

建築・インテリア系の
資格ならコレ!

技術十
國家資格

1級建築士

実務経験不要! 今からチャレンジOK

七

技術士補 資格
技術士は、科学技術に携わる技術者にとって、最も権威のある資格。計画・研究・設計・分析・試験・評価やこれらに関する指導業務を行います。技術士補とは、技術士になるために必要な技能を修習するため、技術士を補助する役割をします。

CADトレース技能審査

パソコンで設計を行うCADの分野は製造業や建設業では今や欠かせません。この資格は、CAD操作の能力証明になるので、就職活動や転職時も活用できます。試験は、初級・中級・上級の3つのランクにわかれています。



このコーナーの
編集担当は



広島工業大学
環境デザイン学科3年
藤本里美

学生の間にどれる資格がこんなにあるとは知りませんでした。自分の夢のためにまずは身近な資格から挑戦していくことが大切だと感じました。

面接官はあなたのココを見ている! 就職活動に役立つ 着こなし & 面接術

面接の受け答えの内容ももちろん重要ですが、それ以前にきちんとおきたいのが身だしなみ。面接の第一印象は、会ってから3~6秒で決まります。まずはきちんとしたスーツの着こなしで好感度をUPし、その上で好印象を持たれる面接術を身につけましょう。

特に女性は気をつけたい!
身だしなみに細心の注意を。

メイク

ファンデーションは薄く、ナチュラルに。アイメイクは暖色系を薄く入れると表情が明るく、柔らかくなります。太めの眉の方が好印象。

スーツ

2~3ボタンのシンプルなテーラード。流行があるが、黒・グレーが定番。必ずブラウスと合わせて顔が綺麗に見える色を選んで。スタイルに合わせてスカート、パンツをチョイス。

かばん

鞄と同じ色のものを。履歴書や資料が折らずに入る大きさで、多少マチがある方が便利。

スッキング

黒・柄ものはNG。自然に見えるペーパーを選んで。伝線した時に予備を1つは持っておこう。



ヘアスタイル

色は自然な黒かこげ茶。お辞儀をした時に顔にかかるなら、結んできっちり。緩やかなバーマ程度はOK。前髪は目が見えるようにカット。横に流すと大人っぽい雰囲気に。

アクセサリー

アクセサリー類をするなら時計のみにしておこう。時計はシンプルなものを選んで。

携帯電話

試験中、面接中は電源OFFかマナーのサインにて。時間を見るには、携帯電話ではなく腕時計を使って。

靴

ヒールは3~5cmの歩きやすい高さを選んで。ヒールがあると足が綺麗に見える効果も。汚れは出かけ前にチェック。

「就職部に相談に行つたときの『がんばってね』の一言が私の励みに。」



東芝ソリューション株式会社 内定
広島工業大学 知的情報システム工学科4年
上門戸 舞さん

楽しいことが好きだから、何でも楽しく。
それはJCDでも就活でも一緒。



三菱地所藤和コミュニティ株式会社 内定
広島工業大学 環境デザイン学科4年
竹山 道子さん

面接官は人を見るプロ。
面接中はココを意識して!

「笑顔でハキハキ」を頭に叩き込んで

面接では笑顔で大きな声ではっきりと受け答えを。表情が暗くて元気がない人を企業は「是非とも採用したい!」とは思いません。鏡を見ながらの面接練習が効果あり。深々とした礼とともに最初と最後の挨拶は声をはって元気よく!



面接の回答は、オリジナリティが大事

面接官が何百人の学生と面接をするなか、「いかに印象に残るか」が勝負! マニュアル通りの受け答えでは見抜かれます。「私の場合は○○です」などアレンジを加えると◎。面接官が複数いる場合は、質問した人の目を見て返答しましょう。



マイナスの質問には努力の姿勢を

過去の失敗談や短所は面接で絶対聞かれる項目。「私は○○なところがあります」だけはNG。自分でどう対処しているかなど、努力の姿勢を見せることが大事。面接官は短所や失敗談の内容ではなく、対処法を判断しているのです。



女性技術者のための採用枠を新たに設置!
「管理」という仕事は、当たり前のこと。そこでお客様の信頼を得ることで、専門知識を活かして、お客様と直接ふれあう(フロント担当)と(工事を担当する業者)との橋渡し役として活躍する女性社員の採用に積極的に乗り出しました。これにより、管理職の専門知識を活かして、お客様と一緒に直接ふれあう(フロント担当)と(工事を担当する業者)との橋渡し役として活躍する女性社員の採用に積極的に乗り出しました。これにより、管理職の専門知識を活かして、お客様と一緒に直接ふれあう(フロント担当)と(工事を担当する業者)

の橋渡し役として活躍する女性社員の採用に積極的に乗り出しました。これにより、管理職の専門知識を活かして、お客様と一緒に直接ふれあう(フロント担当)と(工事を担当する業者)との橋渡し役として活躍する女性社員の採用に積極的に乗り出しました。これにより、管理職の専門知識を活かして、お客様と一緒に直接ふれあう(フロント担当)と(工事を担当する業者)

の橋渡し役として活躍する女性社員の採用に積極的に乗り出しました。これにより、管理職の専門知識を活かして、お客様と一緒に直接ふれあう(フロント担当)と(工事を担当する業者)との橋渡し役として活躍する女性社員の採用に積極的に乗り出しました。これにより、管理職の専門知識を活かして、お客様と一緒に直接ふれあう(フロント担当)と(工事を担当する業者)

女性の特性が活かせる「管理」というシゴト

女性の特性が活かせる「管理」というシゴト

男女差を感じさせない伸び伸びした職場の風土

合人社計画研究所
企業DATA
<http://www.gojin.co.jp>

男女別内訳

広島本社
男性19名、女性41名
(会社全体
男性116名、女性42名)



女性管理職の人数

課長クラス1名、係長クラス6名

育児休暇制度

〈日時〉子どもが1歳になるまで
〈利用率〉5.6%

育児短時間勤務制度

現在、1名が利用中

マンションの管理や修繕に携わる合人社計画研究所では、一人ひとりに思う存分能力を発揮してほしいと考え、すべての社員が働きやすい環境づくりに力を注いでいます。もちろん女性社員に対する配慮も充実。結婚・出産を迎えて、職場への復帰を見込んだ休暇利用率も高く、そうした女性社員を支える職場の理解もあります。また、専門知識が大いに発揮できる女性技術者枠の設置も注目の試みです。

女性の活躍を支援する注目の企業
女性の「誠実で精度の高い仕事」は管理に最適!
vol.2 株式会社 合人社計画研究所



広島工業大学
環境デザイン学科4年
持倉由佳

「建物は建てるだけではなく、どのように維持管理するか」という事の重要性を学ぶなかで、建物の維持管理に関わる仕事がしたいと思い「合人社計画研究所」のインターンシップに参加しました。そこで、責任感やコミュニケーションの大切さを実感。また、みなさんがやりがいを持って活き活きと働いていること、女性が多く、若くても大きな仕事を任せてもらえるという点に大きな魅力を感じました。インターンシップに参加したことで、この企業に入りたい!という気持ちが強くなり、今回の内定に繋がったと思っています。

先輩たちからのアドバイスなど、タメになる実体験談。 就職活動を成功させる鍵!

JCD 08.9~09.3

イベントスケジュール

イベントに関する詳細はJCD事務局までお問合せください。

9/17～19

女性技術者の特別教育講習

9

9/27・28

サマーセミナー

10

10/7

トップランナーに学ぶ
自己表現の世界(第1回)

11

11/11

トップランナーに学ぶ
自己表現の世界(第2回)

12

12/9

トップランナーに学ぶ
自己表現の世界(第3回)

3

上旬

女性技術者の特別教育講習

JCDメンバーリレー

2008.8発行 JCD PRESS VOL.2

JCD PRESSは、JCDセンターの学生幹事がメインとなり制作しています。ここでは、JCDセンターを運営している幹事たちを毎号リレーで紹介していきます! いろんなメンバーがいるからお楽しみ!

JCDでキャリアup!
これからの自分が楽しめます。

社会環境系 1年
JCD PRESS編集スタッフ
山田 文子

どうかさんに留学生と一緒に交流しました。その他にも、JCDの活動で、どんな事を出来るのか、とても楽しめます。



いろんな子と友達になれて
嬉しい!JCDに入って良かった!

電気系 1年
JCD PRESS編集スタッフ
佐藤 未遊

電気系には女子が2人しかいないので、他学科の女の子と交流が持てることが、とても嬉しいです。これから幹事として頑張ります!



大学生活で多くのことを学び、
成長したいです!

電気系 1年
JCD PRESS編集スタッフ
岸 佑香

今までしたことのない幹事という役目でキャリアアップを目指します。JCDメンバーのみなど協力しあい仲良くやっていきたいです。

●女子学生キャリアデザインセンターとは…
広島工業大学が女性技術者をめざす女子学生のキャリアアップをサポートする組織です。

●掲載内容に関するお問合せは
女子学生キャリアデザインセンター事務局

広島市佐伯区三宅2丁目1番1号
広島工業大学 本館3F

<http://hirokoudai.jp/jcd/>

メール jcd@it-hiroshima.ac.jp

電話 (082) 921-7436 FAX (082) 921-7437

JCD CAFE TIME

毎号、広島工業大学女子学生キャリアデザインセンターの活動報告やニュース&トピックスをご紹介していきます。

JCD NEWS & TOPICS

EVENT

新入生にとっては初のイベント 「新入生歓迎セミナー」を開催!

4/15(火)「新入生歓迎セミナー」を開催しました。このセミナーは、学部・学科・学年を越えて、全女子学生同士の交流を深めることを目的としています。新入生を中心に約80名が参加しました。第一部は、JCD外部顧問でもある色彩プロデューサーの稻田恵子さんに、「色のチカラを知る」というタイトルでご講演いただき、JCDのテーマカラーであるオレンジ色を「人が参加する、JCDに人が集まる」という意味が込められた『キャラットオレンジ(人参色)』と名づけていただきました。第二部は、幹事団企画のイベント「ティーパーティー」を行い、自己紹介を兼ねたゲームやティータイムで交流を深めることができ、充実した3時間半となりました。



クレヨンを使って自分探し!



「診断してほしい人!」「はいっ」



みんなで楽しくティータイム♪



ときにはマジメに、紙コップを積みあげ…



学年(縦)を超えて、学科(横)も超える!!

このコーナーの編集担当は



岩本 翔子
環境工学科 3年

みんながいかに楽しく仲良くなれるかを考えながらプログラムを練っていました。ティーパーティーの準備は試行錯誤しましたが、新入生が先輩や初めて出会った新入生同士でアドレスの交換をしたり、「楽しかった、来年もやって欲しい!」と言ってくれて、みんなで頑張って企画した甲斐があったなど実感。今年も新入生歓迎セミナーは大成功でした!!

EVENT

今年初!女子学生限定の オープンキャンパスを開催しました

7/19(土)に、女子高校生限定のオープンキャンパスを開催。講演会、ミニ学科体験ツアー、本学女子学生とのティーパーティーを行いました。講演会では、「自分らしく生きること」というテーマで庄林愛さんにお話をいただきました。庄林さんは工学部出身で、現在は研究職に就かれています。講演会に参加した高校生は、真剣に話を聴いていました。

20日(日)のオープンキャンパスでは、屋外に設けたJCDカフェで、高校生と一緒にケーキを食べながら相談を受けました。女子学生が少ないと不安がる高校生もいましたが、JCD幹事との交流を通して少しでも不安を解消できたのではないかと思います。



庄林愛さんの講演を熱心に聴く高校生達



緊張もほぐれ、みんな笑顔でピース!

このコーナーの編集担当は

「工大でやりたいことはあるけれど、女子学生が少なくて不安」という高校生がいました。その不安がやりたいことの妨げとなるないように、JCDでサポートできれば良いと思います。

中島 恵
システム工学科 4年



EVENT

「とうかさんゆかた着付け国際交流会」 留学生と初めての浴衣、初めてのとうかさん

イリノイ大学からの留学生に、日本の文化に触れてもらおうと6/6(金)に広島の夏祭り「とうかさん」へ浴衣で一緒に出掛けるイベントを企画。幹事15名で、女子留学生に浴衣の着付けや帯の結び方を教えました。その後浴衣を着た男子留学生と合流し、「とうかさん」にお参りし、初夏のお祭りを楽しみました。留学生は「浴衣は動きやすくて涼しい」、「日本の文化に触れることが出来て良かった」と嬉しそうでした。



留学生と一緒にパチリ!

このコーナーの編集担当は

広島工業大学 建築工学科2年
坂本真由佳

JCD幹事としても初めての試み。この企画を通じて、留学生と私たちにとって楽しい思い出が出来たと思います。

INTERVIEW

JCDセンタースタッフの森本さん、 吉野さんってどんな人?

Q.JCDセンターで、おふたりはどんな仕事をしているんですか?
JCD関係の事務処理全般や女子学生の窓口、JCDの存在とその活動を広く知ってもらうため、広報活動をしています。

Q.JCDセンターの活動で楽しいこと、やりがいはどんなことですか?

[森本] JCDセンターの活動を通じて、自分自身も前向きにキャリアアップしていこう!と思えることです。

[吉野] みんながキャリアアップしているのを、一番近くで、実感を持って観ることができることです。



森本さん
(もりもっち)

Q.突然ですが、おふたりの趣味を教えてください!

[森本] 毎日元気でモリモリ食べること。梅干しが好きです♥

[吉野] マンガから純文学まで、果てしなく広く、限りなく深く、「読む」ことが大好きです!ケロロ。



Q.広島工業大学の女子学生には、これからどうなってほしいですか?

[森本] いろんな経験をチャンスだと思って、楽しみながらキャリアアップしてほしいです。

[吉野] 自分の能力に限定を設げず、いろんなことにチャレンジして欲しいです。